

第2回三沢市協働のまちづくり推進懇話会概要

日 時：平成24年9月12日（水）

18時30分～19時30分

場 所：市民活動ネットワークセンターみさわ

出席者：委員8名、事務局4名

次 第

1. 開会

2. 今回の検討事項

①愛称募集の結果報告について

事務局説明

- ・8月1日～31日までの間、広報みさわ8月号及び三沢市ホームページにおいて、愛称の募集を行った結果、メールやハガキにより、34点の応募があった。
- ・本日配布した資料について、既に他の施設に命名されているものや商標登録がなされているものには網掛けをしているので、それらを除外した26点の中から選んで頂きたい。
- ・懇話会で選んだ愛称を事務局から市長に伺いを立てる形を取ることとする。
- ・愛称には手を加えないものとする。

②募集した愛称の選定について

- ・懇話会として候補になるものをいくつか選定するうえで、一つに絞る事が出来なければ複数選んで行政に諮るといふ事でもいいか。

→懇話会に一任。

- ・最終決定はどこが行うのか。

→最終的には市長が決定する。そこに行くまでの課程の中で、ひとつが選ばれていくという事も考えられるし、複数の案が市長の所へ行き、その中から選ばれるという考え方もある。

- ・決定について期限はあるのか。

→ホームページでは9月中旬としているが、あくまでも予定なので、一度持ち帰って再度話し合う等、懇話会にお任せする。

・懇話会が選んだものが実際に使っている人たちにとっても親しみの持てる愛称なのか、使っている人たちにも聞いてみてはどうかと思ったものの、予定している期間が短い為、懇話会のメンバーに一人2件まで票を入れてもらい、各委員の意見を聞きながら、事務局を含めた女性の意見も取り入れ、懇話会の中で話し合った結果を候補にすることで合意を得た。

また、多数決ですぐに決定してしまうのではなく、各委員にそれを選んだ理由も述べてもらい、その意見を踏まえた上で候補の選定を行った。

✿投票の結果、挙げられた愛称

ハートリッチみさわ	絆の館
ふれあいネットみさわ	ハーティネットみさわ
ほっとネットみさわ	み～ちゅ～三沢
ゆめプラザ三沢	サンサポ
そだなす館	フレピア
ゆめぴあ	以上 11件

各委員の選定理由

- ・「みさわ」と付いたほうがいいと思った
- ・語呂や響きがいい
- ・この場所で何をやっているのか、愛称からも分かる方がいい
- ・看板の正式名称の隣に愛称を刻んだときに、「みさわ」が正式名称とかぶってしつこい
- ・以前の名称「ふれあいの館」が市民に馴染んでいるので捨てがたい
- ・地元の人が愛着を持ってくれそう
- ・シンプル
- ・どこにでもありそうなのを避けた
- ・若者の感覚で選んだ
- ・夢を持って活動する人があつまる所だから
- ・看板になった時の正式名称と愛称の文字のバランスを考えて
- ・正式名称が長いので、短くて一言で言えるもの、呼びやすいもの
- ・三沢が、そして心がリッチになってほしい
- ・絆という言葉が好き、かつ、わかりやすい
- ・言葉に出してみても耳にひっかかるもの
- ・方言で覚えやすい

③選定結果について

委員の意見をまとめた結果、11件挙げられた候補の中から最終的に4件まで絞られ、これらの愛称を懇話会の意見として市長に提言することで合意。

(正式に決まった際には、事務局より改めて委員の皆さまへお知らせし、ホームページ等で発表する予定。)

✿懇話会での選定結果4件

そだなす館	ほっとネットみさわ
ふれあいネットみさわ	ハーティネットみさわ

3. 閉会

その他

- ・次回から、お知らせ等はメールのみでいいとの意見。
- ・センターを利用している団体の方々の活動をテレビで流してもらいたいという声があったとの報告。
- ・もっとセンターに人が集まるように、センターで活動している団体の作品を展示したりしてお祭りのようなことをやり、いろいろな人にこの場所を知ってもらう機会を作ったかどうかという提案。

→懇話会の立場としては一步下がって、将来的には登録している団体の中で運営協議会のようなものを作って、そこが運営していくことが前提であり、そういった提案は出来るが、実際の運営となると協議会が主導権を持っていくという形で進めていくべき。事務的なサポートは事務局が声掛け等していただければいいと思う。

→確かに、働く婦人の家や勤労青少年ホームでは昔、そこを利用している団体が年に1度お祭りみたいなものをやっていた。今は市民の森の方でやっているようだ。このセンターはまだ認知度が低いから、ここを使って市民活動を活発にしていくには実際に何かイベントなり仕掛けが必要になってくる。